

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS

No.808
2019
03

■ 巻頭企画

page2019 見てある記

● テーマは「デジタル×紙×マーケティング」

(株)バリューマシーンインターナショナル 宮本 泰夫

■ 特別企画

2.9-10 栃木大会の下見ツアーを開催

関東地協の各支部長総勢 15 名が第三者的視点でチェック

■ 連載

初心者のためのウェブマーケティング入門②

山田英司の業界展望④

■ NEWSとお知らせ

優良従業員表彰の申請を受付中です

4.18 本部必着 支部長経由での申請となります

業界の動き

1.19 一泊旅行で理事会を開催 / 中国地協

2.8 幹事会&新年懇親会を開催 / 近畿地協

2.16 福岡で理事会を開催 / SPACE-21



電子版公開中！
スマホでも本誌が読めます
公式HPにて本誌PDF版を公開
中。紙媒体より1週間早い毎月中
旬にご覧いただけます。バックナ
ンバー閲覧もここから！



なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。会長の
中村耀です。

年度末に入り、会員の皆様も忙しく動かれている
ことと思います。来月には新たな元号が発表され、また
印刷業界でもその対応による一部特需が期待されると
ころです。

2月末に中小企業庁のホームページでは天皇陛下
在位 30 年を記念し、天皇陛下と中小企業の関わりと
いう特集記事がアップされていました。

天皇陛下は毎年のように中小企業を視察し、その
技術や製品について、中小企業の経営者だけでなく、
現場で働く従業員にまで熱心に質問されるなど、中小
企業に高い関心を示され、励まして頂きました。その
他にも震災があれば被災地に足を延ばして、仮設住宅
や避難所を回って、被災者一人ひとりの声に耳を傾け
てきました。

こうした国民に寄り添う意識は、ジャグラの会長職
でも大いに学ばせて頂きました。私ももう間もなく、
会長職4年目に入ろうとしています。出来る限り、全
国の皆さんの声を聞いて、出来ることは何でもやろう
とこの間取り組んできました。まだまだ至らぬところも
多々ありますが、皆さんのためのジャグラであるよう、
新年度も気を引き締めて運営にあたって参ります。

気兼ねなく、皆さんの声をお寄せいただき、ご理解、
ご協力を頂ければ幸いです。

C・O・N・T・E・N・T・S

● 巻頭言

- 01 第61回文化典栃木大会
若い知恵と企画力で お・も・て・な・し
—— 第61回ジャグラ文化典栃木大会 運営委員長 岡澤 誠

● 巻頭企画

- 02 page2019 見てある記
外部環境の変化に対する
「課題解決型」イベントへの変革
—— (株)バリューマシーンインターナショナル 宮本泰夫

● 特別企画

- 23 2.9-10 栃木大会の下見ツアーを開催
—— 関東地協の各支部長総勢15名が第三者的視点でチェック

● 連載・シリーズ

- 14 初心者のためのウェブマーケティング入門②
～フレームワーク～
—— ジャグラ事務局/Web担当 阿部奈津子

- 18 山田英司の業界展望④

● NEWSとお知らせ

- 12 優良従業員表彰の申請を受付中です
—— 4.18本部必着 支部長経由での申請となります

- 20 1.8 第5回理事会を開催
—— 用紙値上げ問題の対策を検討

- 26 業界の動き
1.19 一泊旅行で理事会を開催/中国地協
2.8 幹事会&新年懇親会を開催/近畿地協
2.16 福岡で理事会を開催/SPACE-21

- 29 ジャグラBB HOTNEWS

- 19 コラム

- 28 事務局日誌と今後のスケジュール

- 21 法親会のご案内

第61回文化典栃木大会 若い知恵と企画力で お・も・て・な・し

第61回ジャグラ文化典栃木大会 運営委員長 岡澤 誠



6月7～9日、栃木県支部主宰で第54回定時総会・
第61回文化典・懇親会が開催されます。思い出せば、
二年前2017年11月の全国協議会終了後の関東地
方協議会懇親の席で、2019年6月の文化典は関東地
方協議会が担当ということで、2018年4月から、私、
岡澤が関東地協の会長になるため、栃木大会の運営委
員長を、実行委員長には栃木県支部長の宮本氏が担う
ことになりました。

今日に至るまで、宮本実行委員長はじめ栃木県の理
事の方々や幾たびか打ち合わせをしていくなかで、若
い皆さんの知恵と企画力、そして行動力に感心させら
れました。

通例において、一大イベントを開催するに当たって
は、おそらく旅行代理店に依頼するのが常だと思って
おりました。然し、宮本実行委員長をリーダーとして、
栃木県理事の方々の知恵と行動力、そして一丸となっ
て進めていく様子は、目を見張るものがありました。

先日2月9日には、関東地方協議会七県の支部長の
方々が、宇都宮・日光を下見に来ていただき※、なん
と心強かったことか。

宮本実行委員長、栃木県理事、関東地協各県支部長
の方々の協力のもと、栃木大会で皆様にご満足いた
けるよう、「お・も・て・な・し」に頑張ってます。

※編集部注：23ページからの関連記事をぜひお読みください。

WEBで最新情報を!
http://jagratochigi.wixsite.com/yasanichi

栃木大会
ホームページ



栃木大会
Facebook





リコーのブースプレゼンテーションには毎回多くの聴講者が集まった

出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった

page2019 見てある記

外部環境の変化に対する「課題解決型」イベントへの変革

(株)バリューマシーンインターナショナル 取締役副社長 宮本 泰夫

テーマは「デジタル×紙×マーケティング」印刷物の付加価値向上を訴求

2019年2月6日から8日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターTOKYOにおいて、page2019が開催された。今回のテーマは「デジタル×紙×マーケティング」であった。印刷市場が縮小を続けるなか、足元の印刷物の付加価値を高める一つの切り口としてマーケティング視点を加えたアプローチが、基調講演、カンファレンス・セミナー、各種オープンイベントにより示された。

展示会については、今回も3つのホールを利用して開催された。一般展示以外にも、「印刷パートナーゾーン」と「デジタル×紙×マーケティング」ゾーンの2つの特設ゾーンが設けられ、前者では自社にはない、あるいは自社では苦手としているサービスを持つ印刷会社をパートナーとして新たなビジネスやサービスを創造する取り組みが訴求され、後者では様々なマーケティング施策における紙媒体の有効性が特別セミナー形式で解説された。

また、展示会場においては、多くの出展社が課題解決型の出展形態を志向していたことが特徴的であった。デジタルメディアの急速な普及による小ロット、

多品種化の流れを受けた印刷市場の縮小に加え、近年では、IoT/AI時代の到来による外部環境の変化や、少子、高齢化による将来に向けての労働環境の大きな変化など、数多くの課題が議論されている。各社の出展内容が、単に新製品、新技術の展示ではなく、それぞれの出展内容が印刷会社のこういった課題をどのように解決するためのものであるかといった具体的な説明の下に行われていたことは印象的であった。

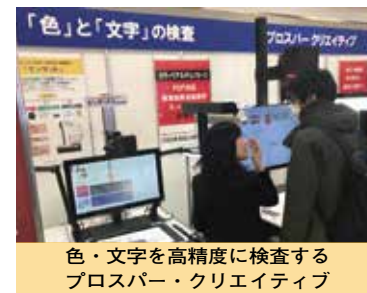
page2019展示会は、出展社数162社（前年161社）、出展小間数562小間（同546小間）、来場者数6万6560人（同6万6210人、前年比100.5%）となり、出展社数、出展小間数、来場者数ともに前回を上回る結果となった。ホール、各出展者のブースプレゼンテーションには数多くの来場者が訪れ、真剣にその内容を聞く様子が見て取れた。

環境変化を背景にIoT/AI・MAの利用など新たな取り組みが進む

第四次産業革命と呼ばれる昨今、印刷業界に限らず様々なビジネスが外部環境の変化の中で将来を見据えた課題を抱えている。特に印刷業界はオンラインメディアの進展に伴う市場の縮小に加え、自動化、効率



FFGSの自動給版・マルチ排出CTPソリューション



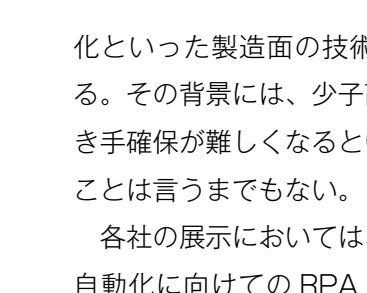
AGFAが提唱するFA



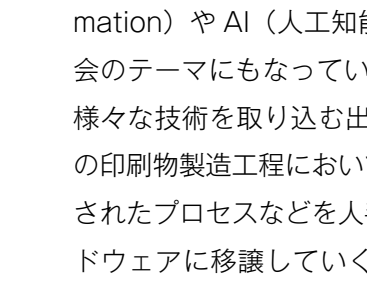
GTBはスキャナを利用した検査装置を参考出展



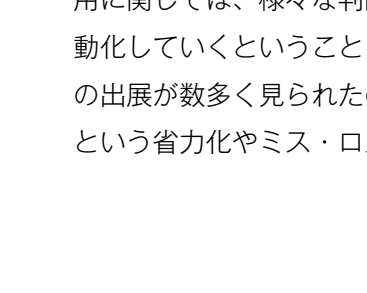
AI技術が利用されるFFGSのPHOENIX面付システム



goofのPC OneFlowはデジタル印刷工程全体を自動処理により効率化



リコーのブースプレゼンテーションには毎回多くの聴講者が集まった



出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった



AGFAが提唱するFA



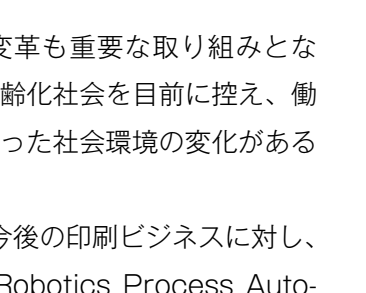
GTBはスキャナを利用した検査装置を参考出展



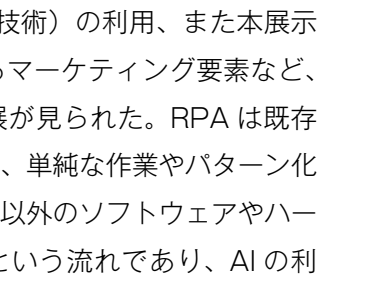
AI技術が利用されるFFGSのPHOENIX面付システム



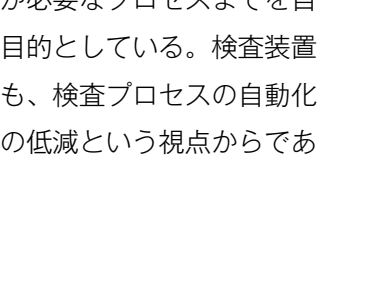
goofのPC OneFlowはデジタル印刷工程全体を自動処理により効率化



リコーのブースプレゼンテーションには毎回多くの聴講者が集まった



出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった



出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった



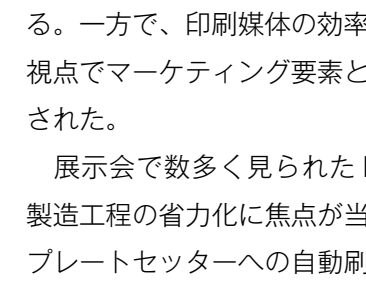
AGFAが提唱するFA



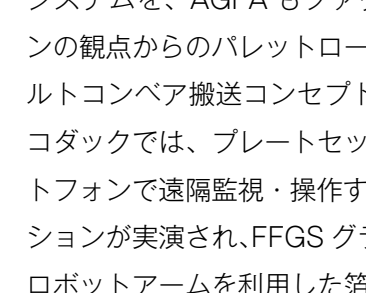
GTBはスキャナを利用した検査装置を参考出展



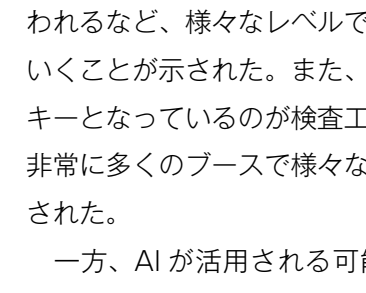
AI技術が利用されるFFGSのPHOENIX面付システム



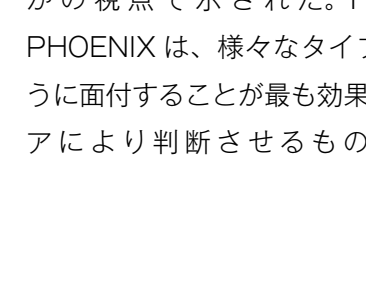
goofのPC OneFlowはデジタル印刷工程全体を自動処理により効率化



リコーのブースプレゼンテーションには毎回多くの聴講者が集まった



出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった



出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった



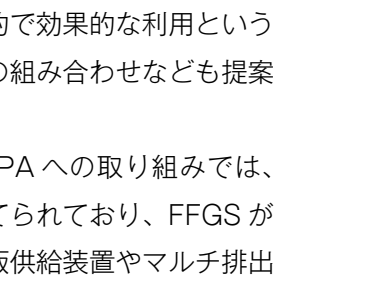
AGFAが提唱するFA



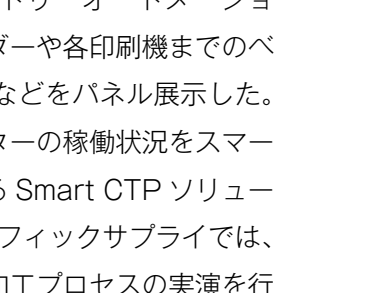
GTBはスキャナを利用した検査装置を参考出展



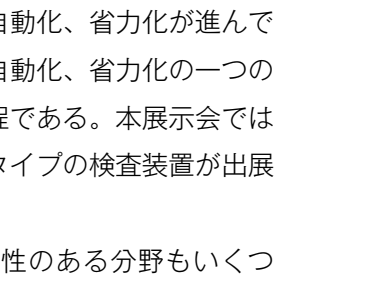
AI技術が利用されるFFGSのPHOENIX面付システム



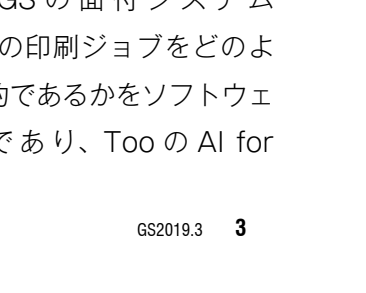
goofのPC OneFlowはデジタル印刷工程全体を自動処理により効率化



リコーのブースプレゼンテーションには毎回多くの聴講者が集まった



出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった



出展規模・来場者数ともほぼ前年並みであった

る。一方で、印刷媒体の効率的で効果的な利用という視点でマーケティング要素との組み合わせなども提案された。

展示会で数多く見られたRPAへの取り組みでは、製造工程の省力化に焦点が当てられており、FFGSがプレートセッターへの自動刷版供給装置やマルチ排出システムを、AGFAもファクトリーオートメーションの観点からのパレットローダーや各印刷機までのベルトコンベア搬送コンセプトなどをパネル展示した。コダックでは、プレートセッターの稼働状況をスマートフォンで遠隔監視・操作するSmart CTPソリューションが実演され、FFGSグラフィックサプライでは、ロボットアームを利用した箔加工プロセスの実演が行われるなど、様々なレベルで自動化、省力化が進んでいくことが示された。また、自動化、省力化の一つのキーとなっているのが検査工程である。本展示会では非常に多くのブースで様々なタイプの検査装置が出展された。

一方、AIが活用される可能性のある分野もいくつかの視点で示された。FFGSの面付システムPHOENIXは、様々なタイプの印刷ジョブをどのように面付することが最も効果的であるかをソフトウェアにより判断させるものであり、TooのAI for



富士ゼロックス
Iridesse Production Press



リコージャパンRICOH Pro C7200s



キヤノンimagePress C10000VP



コニカミノルタAccurioPress C6100



FFGSはインクジェット技術と
様々なサンプルを展示



AGFAは油絵の立体感を表現した
インクジェットサンプルを展示



OCEANの
立体印刷用インクジェットシステム



ミマキエンジニアリングの
大判インクジェットサンプル



リコージャパンの蛍光トナーサンプル



FFGSのメタリックトナーサンプル



富士ゼロックス DocuColor 7171P
(Model-ST) と特殊トナーサンプル



コニカミノルタと共同印刷による
Light Black Comic Press説明パネル



リコージャパンRi100
ガーメントプリンタと多様なサンプル



ImageMAGICの
インクジェットガーメントプリンタ



ホリゾンの孔版印刷システム
Tシャツ君



三菱製紙MDS-360孔版印刷システム
によるガーメント印刷



リコージャパンの
各種特殊媒体への印刷サンプル



理想科学工業は
薄紙印刷の可能性を訴求



高い光沢感をもつ
竹尾のデジタル印刷機向け蒸着紙



デュポンは多様なデジタル印刷機向け
印刷媒体を展示

小型デジタル印刷機の開発視点は 高付加価値化が主流に

出展の中心となっている小型デジタルシステムは、従来の性能面、品質面での訴求から、その可用性や高付加価値化に舵を切ったことが窺える。トナー方式のデジタル印刷システムは、すでにその品質がオフセット印刷に匹敵するものとなっており、各社の開発方向性は、システム面での安定化・省人化、材料面では色材技術や印刷媒体技術の進化に変化してきた。

●デジタル印刷システムの安定化技術

各社の小型デジタル印刷機には、その内部にセルフアジャストメント機能を搭載し、印刷前ならびに印刷中の色、品質、用紙位置をモニタリング可能となっている。こうした機能により、刷り出し前に各設定値を効率的にセッティングし、印刷中にもそれらの変動を最小限に抑えることが可能となる一種の自動化機能と言える。今後迎えるであろう人材不足の時代に向け、人的に能力に依存せず、高品質な印刷物を安定的に製造するための技術ととらえることができる。

富士ゼロックス Iridesse Production Press では用紙の伸縮を考慮した印刷位置調整機能までを実装、リコージャパン RICOH ProC シリーズ、キヤノン

ImagePRESS C10000VP もこうした機能を自動的に実行することでオペレータをサポートする。コニカミノルタ AccurioPress C6100 は、インテリジェントクオリティオプティマイザーと呼ばれるモジュールをオプション接続することで、こうした自動調整機能に加え、印字面の検査までをサポートする。同オプションでは、分光高度計と用紙の両面にそれぞれスキャナを配置し、印刷しながらリアルタイムに印字面の全面検査を行うことが可能であり、障害が検出された場合には、その用紙を含む印刷物（複数ページものであれば 1 セット分）を自動的に排出し、ページ順、最終部数が変わることなく印刷を実行することができるようになっている。

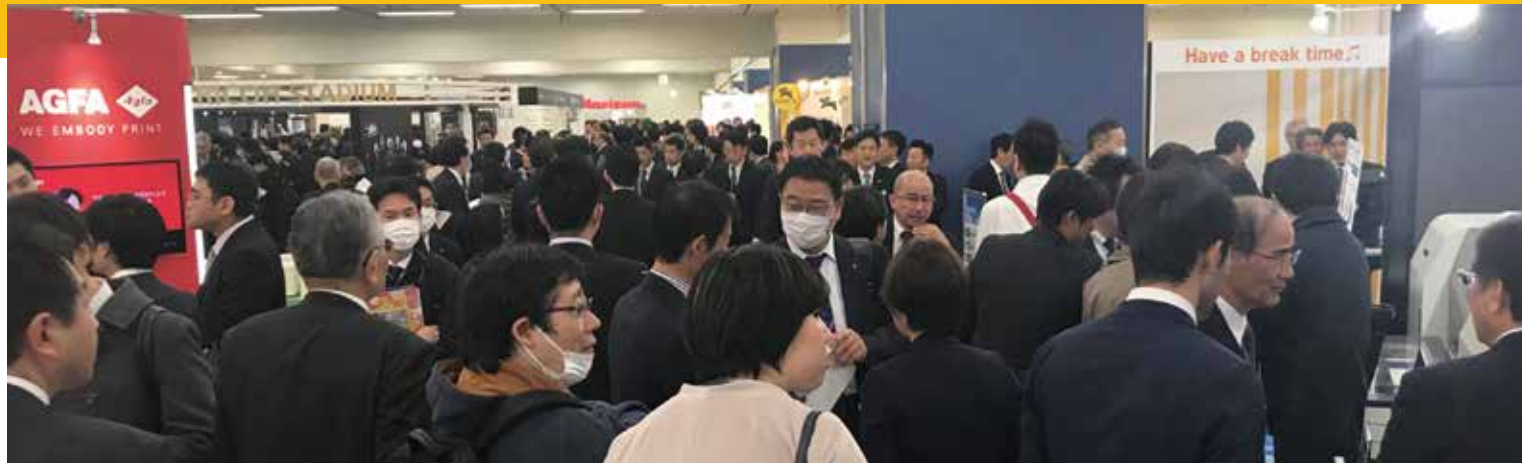
●印刷物の高付加価値化を狙う色材技術

小ロット、多品種化が進む印刷市場において、デジタル印刷の利用可能性は拡がると考えられているものの、実態は目論見通りには進んでいない。その背景には、従来から利用されているオフセット印刷技術が小ロット印刷への対応、低価格化が進んでいるためである。こうした環境変化の中で、各社の小型デジタル印刷機はフルカラー印刷に加えて 5 色あるいは 6 色機といった多色機能を備え、特色や特色トナーが利用可能となっている。高品質フルカラー印刷に加えて様々な用途への対応を進めるとともに、付加価値の高い印刷物を製造可能なシステムへと進化を遂げている。

リコージャパンは特種トナーとして、蛍光イエロー、蛍光ピンク、ホワイト、クリア、インビジブル（不可視）レッドの 5 色の特殊トナーを利用した幅広いサンプルの出展を行った。特殊トナーを利用する印刷

データを手軽に作成するための Acrobat 用プラグインを無償で提供することで、発注者側にそういった知識がない場合でも、印刷会社のデザイン、制作部門で様々な特種効果を手軽に付加することが可能となっている。また、富士ゼロックスでは、Iridesse Production Press が 6 色機構でサポートするゴールド、シルバー、ホワイトなどの特殊トナーを専用で利用可能な小型デジタル印刷機 DocuColor 7171P (Model-ST) を本展示会で初出展した。カラー紙やフルカラーで印刷済みの印刷物に、加飾効果としてメタリック効果やホワイトでの特殊効果を加えることができるため、大型デジタル印刷機を導入することなく付加価値の高い小ロット印刷物を製造することが可能となっている。コニカミノルタでは、4 色印刷ながら広色域な印刷が可能な AccurioPress C83hc を出展、4 色のプロセスカラーでは再現できない鮮やかな色調の印刷物をサンプル展示した。また、日本 HP は、BN テクノロジーブースにおいて、HP Indigo 7r Digital Press を展示、Vivid Pink、Vivid Green を加えた 6 色再現の鮮やかな印刷物を印刷、配布した。さらにコニカミノルタでは、共同印刷に導入した Light Black Comic Press のパネル展示を行った。極小ロットのコミック本印刷のため、Light Black（薄墨）トナーを開発し運用をスタートしたとのこと。

このように、特殊トナーの利用分野としては、商業印刷分野におけるアイキャッチ効果や高彩度印刷、パッケージ分野向けの加飾効果、出版分野からセキュリティ分野向けなど様々な市場拡大に向けた効果が見込まれる。これまで小型デジタル印刷システムが対応



ホリゾン
Smart Binding Systemの全体像



自動製本ラインのデータ制御を行った
キヤノンのPPFM



ホリゾンpXnetはPPFMからの
指示により加工機器を制御



富士ゼロックス
Production Cockpitのコンソール



コニカミノルタJETvernish 3DSの
住宅販売DMサンプル



日本製図器工業の
VarnishPRO V475/Foil3DP



光文堂 きらり



デュプロDDC-810は
厚盛加工に特化したデジタル加飾機



デュプロDC-646
カッタークリーサ



江東錦精社TouchLine
カッタークリーサ



ホリゾンSmartSlitter



日本製図機工業Kongsberg
カッティングプロッタ



ムサシ自動給紙機構付き
卓上カッティングプロッタ



ムサシSEI EASYレーザーカッター



コムネットロール紙用
レーザーダイカッター



トヨタテックの小型加工機群



東京ラミネックスの
ラミネータ群



日本オフィスラミネータの
ラミネータ群

できなかった幅広い分野に利用が広がることを期待したい。

●利用可能な印刷媒体の拡大に注目が集まる

近年、デジタル印刷機が印刷可能な媒体が拡がりを見せている。薄紙から厚紙まで用紙に関しても幅広く利用が可能であるが、一般的な印刷用紙以外にも様々な媒体への印刷が可能となってきた。極小ロット、可変印刷が可能といったデジタル印刷機の機能と多様な媒体を組み合わせることは新たな利用可能性が見出されるものと期待される。

リコージャパンでは、昨年の IGAS で展示されたガーメント系素材、ユポに加え、タイベックへの印刷が展示された。トナー方式は定着部で熱と圧力が利用されることから、熱に弱い合成紙系の媒体は印刷ができないと見られてきたが、技術的な改良を進めることで、多くの媒体に印刷することができるようになってきた。また富士ゼロックスでもメタリック系トナーの質感を活用する質感の高い用紙への印刷サンプルが多数展示された。また、理想科学工業では、ノーカーボン紙や日めくりカレンダーなどの極薄印刷用紙、先糊圧着紙などへの利用サンプルが展示された。

印刷媒体に関しては用紙メーカーからも各種展示があり、竹尾からはデジタル印刷機向け蒸着紙や質感を大切にしたい用紙群 TACT、長井紙業は和紙を中心として、デュボンからは先に述べたデジタル印刷機向けのユポやタイベックといった印刷媒体が出展された。

印刷会社の裾野を拡げビジネス拡大を目指す出展にも注目が集まる

進化を遂げる印刷技術により、印刷会社のビジネス拡大にも注目が集まった。非接触型の印刷技術であるインクジェット印刷方式は、立体物などの多様なメディアへの印刷や厚盛加工、2.5D 印刷や隆起印刷とも呼ばれる立体印刷などを実現してきた。また、展示会場で目立ったのは T シャツなどガーメント（衣服）系の印刷を行うシステムであった。こうした流れは、用紙への印刷が減少する中で印刷会社の新たなビジネスへの挑戦のきっかけになるものと考えられる。

FFGS はインクジェット技術の幅広い用途をサンプルにて紹介した。同社は枚葉・輪転、軟包装から大判

プリントまで幅広い印刷システムを保有し、曲面をもつ厚物への印刷や、立体印刷の大判サンプルなどが展示された。また、AGFA も大判インクジェットプリントによる立体印刷を油絵を題材として展示を行った。両社の立体印刷用のデータは、トヨタテックの 3D スキャナにより取り込まれたとのことである。OCEAN では小型のインクジェット印刷システムでありながら、ホワイト、クリアによる立体印刷のデモンストレーションが行われたほか、ミマキエンジニアリングでは、新たにリリースされたシルバーインクを含む様々な媒体やカラーバリエーションをもつ、大判インクジェットプリンタのサンプルが展示された。

展示会場には T シャツ印刷を中心として、数多くのガーメント系印刷システムが展示された。デジタル印刷技術ではインクジェットが中心となっているものの、孔版印刷機にも改めて注目が集まった。

リコージャパンはインクジェットガーメントプリンタ Ri100 を出展し、T シャツからトートバッグなど様々な商材への印刷をデモンストレーションした。ImageMAGIC では、インクジェットでのダイレクトプリントによる T シャツのプリントを、データ処理から梱包までの一貫生産ラインとして展示した。T シャツのタグ裏に RFID を内蔵することで、必要なデータの呼び出し、プリント、梱包から発送情報までを一元管理することが可能となっている。また、孔版印刷機では、ホリゾンが T シャツ君、三菱製紙が MDS-360 を利用して様々なガーメント系素材への印刷を出展した。

後加工システムは自動化・加飾加工・小型化と多様な展開を見せる

印刷の小ロット化への対応として重要な役割をもつのが後加工である。印刷物を製品として完成させるためには加工は不可欠であるが、これまで印刷は小ロット対応が可能となってきたものの、後加工の小ロット対応はなかなか進展してこなかった。近年、小ロット生産に向けた自動化システム、極小ロットでも可能な加飾加工システム、小型機であっても多様な加工が可能な加工システムが登場し、印刷全体の小ロットに向けた流れが加速していることが窺える。

●出版向けの無線綴じ・商印向けの中綴じ自動製本ライン

製本ラインの自動運用システムはホリゾンブースに
出展された。出版向けの無線綴じライン Smart
Binding System、商印向けの中綴じライン
StitchLiner MarkIII は、いずれも A3 ノビサイズの
カット紙での印刷物から各種製本済み印刷物に自動加
工するラインであり、印刷物ならびに自動制御ソフト
ウェアはキャノンマーケティングジャパンとの協業で
運用されている。製本ラインの制御には、キャノンの
PPFM（Production Print Flow Manager）のデー
タ制御と、ホリゾン pXnet の連携により、印刷物の
サイズ、ページ数などの情報が各製本機器に転送され、
自動プリセットが行われた上で製本ラインが稼働す
る。展示会場では、システム全体のモニタリングは富
士ゼロックスの Production Cockpit が担っていた。

各製本ラインとも、小ロット製品が連続的に製造で
きるよう、1 冊ずつページ数やサイズが変更になった
場合であっても、事前に印刷された各種コントロール
用のマークを製本機器に読み取らせることで自動的に
切り替えられるようになっている。断裁サイズはもと
より、無線綴じの場合は束厚、中綴じの場合はステー
プルの長さを含めて、ページ数に応じた変更が自動で
行われる。これまで Smart Binding System は、大型
インクジェットのロール紙からの製本が実演されるこ
とが多く、大手印刷会社向けとの見方が強かったが、枚
葉小型デジタル印刷機からの出力からの製本ラインま
でを含むことで、中小印刷会社における自動化、省人化
のシステムとしての可用性が広がったものと見える。

●高付加価値化の中心に位置付けられるデジタル加飾 と小型加工システム

インクジェット印刷技術を利用し、印刷済みの用紙
に 1 枚ずつ厚盛加工、箔加工を施す後加工はデジタ
ル加飾と呼ばれる。アイキャッチや印刷物の質感とし
ての高級化など様々な付加価値を提供する加工システ
ムとして注目を集めている。本展示会では、実際に市
場で利用されたサンプルが出展され始めたほか、小型

化されたシステムとしての新製品も展示され注目を集
めた。

コニカミノルタの JETvernish 3DS では、化粧品
メーカーの限定プロモーション用のプレゼントパッ
ケージや住宅販売用の DM など数多くの実際に利用
された印刷物が展示された。また、日本製図器工業の
VarnishPRO V475/Foil3DP、光文堂のきらりな
ど、デジタル加飾システムについては新製品の出展も
行われた。デュプロの DDC-810 は厚盛加工に特化
したデジタル加飾システムであり、箔加工はムサシの
DC-2 など小型箔加工機を利用することが可能となっ
ている。

また、大きな投資を必要としない小型加工システム
についても、多様なシステムが登場している。カット、
クリース、ミシン加工などを 1 枚ずつ行うシステム
としてデュプロ DC-646、江東錦精社 TOUCHLINE、
ホリゾン SmartSlitter などが出展され、型を必要と
せず自由な形に切抜き可能なシステムでは、カッティ
ングプロッタとして日本製図器工業の Kongsberg
やムサシの自動給紙機構付きの卓上機、レーザー加工
機としてムサシの SEI EASY、ミマキエンジニアリ
ング HAJIME CL1、コムネットのロール紙向けレー
ザー加工機などが、トヨテックでは様々な小型加工機
群が出展された。ラミネータは、東京ラミネックス、
日本オフィスラミネータなどが新機種を出展した。

■おわりに

印刷ビジネスを取り巻く環境は、デジタル化や市場
の縮小という単純な言葉では表現しきれないほど、長
期的には外部環境の変化によってその形を大きく変え
ようとしている。本稿冒頭でも述べたが、インターネッ
トやモバイルメディアを通じたオンラインメディアの
普及により、ペーパーメディアは年々減少を続け、そ
の必要性までが議論されているほどである。一方で「紙
は無くならない」とも言われるが、時代の流れを見る

限り、特定の事業分野に限っては、将来的に紙は無く
なる分野も出てくることは容易に想像できる。また、
現代は第 4 次産業革命とも呼ばれる IoT/AI への時代
を迎えていると言われ、製造業においては自動化、省
人化といった技術的な潮流があり、印刷関連の製造機
器もネットワーク化が進み、自動制御の時代が来るこ
とも予想される。特に国内では、少子高齢化社会を迎
えるにあたり、これは自動化という技術としての変革
だけでなく、将来に向けて働き手が大幅に減少すると
いった社会環境の変化への対応という側面もあろう。

また、直近の課題として営業面の課題が挙げられる。
現在は印刷物が年々増加傾向にあった時代とは異な
り、顧客が発注する印刷物は減少傾向にある。黙って
いても印刷物が潤沢に発注された時代の営業手法はも
はや通用せず、営業は積極的に顧客とコミュニケー
ションを取り、顧客への提案を行うことが必要となる。
**すなわち、印刷関連業は製造業からの脱却を図り、そ
のビジネス自体を考え直すことが重要である。印刷会
社は単なる製造業ではなく、営業活動を行い、モノづ
くりを行い、それを顧客に向けて販売してアフターサ
ポートを行うというトータルビジネスの考え方を持つ**

TOPICS ジャグラ会員企業も出展し、大いにPR!

page2019 会場には、ジャグラ会員企業の出展も見受けられ
ました。(写真：原多印刷(株)さん(左)と(株)研美社さん(右))

×
原多印刷さんは、「Why! 原多印刷を選ぶのか!」というキャッ
チコピーで、同社の高精細カラー印刷の「短納期」「低価格」「高
品質」を PR していました。



ことが必要である。そういった中で重要な知識となっ
てくるのがマーケティングである。自社ビジネスの
マーケティング、顧客のビジネスのマーケティングサ
ポートという視点が今後さらに重要になってくるので
はなかろうか。簡単に言えば、どんなに高品質な印刷
物をどんなに安く提供したとしても、その印刷物が顧
客にとって役に立たないものであったり、成果を生ま
ない結果となった場合、その印刷物は必要なかったも
のとなる。顧客が支払った代金は無駄であったという
ことであり、顧客は二度と印刷物を発注したいとは考
えなくなるであろう。すなわち印刷会社は、顧客から
言われたものを、言われた通りに製造すれば良いとい
うことではなく、顧客にとって価値あるものを創り出
すことが求められているのである。

本稿で述べてきたように、直近での課題から、近い
将来に向けての課題まで、様々な視点での課題解決の
ヒントが page2019 展示会で示された。この内容を
どのように自社のビジネスに取り入れ、製造面、ビジ
ネス面の両面でどのように変えていくのか、印刷関連
業の今後に期待したい。

また様々な展示会によく出展されている研美社さんは、同社の
主力商品としておなじみの多種多様なカード印刷を PR !
両社ともに小さい小間ながらも、自社の強みや得意分野を分
かりやすく簡潔に表現したブースで、会期初日、開場直後にもか
かわらず来場者の反応も好評だった模様。ご苦労様でした。
(取材：本誌編集部)



■筆者プロフィール 宮本泰夫(みやもとやすお) (株)バリューマシーンインターナショナル取締役副社長。1993 年より
東洋インキにてデジタル印刷機の技術、アプリケーション開発に携わる。2003 年にバリューマシーンを設立し現職。
独立系コンサルタントとして、デジタル印刷を中心とした、基礎技術から、デジタルワークフローや Web-to-Print など
ビジネス技術面でのコンサルティング、企画・セールス・マーケティング面でのビジネス開発コンサルティングを多数手掛
ける。クロスメディアソリューション研究会運営理事、全日本印刷工業組合連合会 印刷営業講座専任講師、日本印刷技
術協会 (JAGAT) 客員研究員、日本グラフィックサービス懇話会顧問、フォーム印刷研究会講師、情報工学修士。

月刊
グラフィックサービス
No.808
2019
03

月刊
グラフィックサービス
No.808
2019
03

優良従業員表彰の申請を受付中です

4.18本部必着 支部長経由での申請となります (申請書はジャグラHPから)

ジャグラは今年もジャグラ文化典において優良従業員の表彰を実施します。優良従業員表彰は従来15年以上勤務した従業員を永年勤続従業員表彰として表彰していた制度に代わる表彰として平成16年より実施しているもので、現在、その申請を受け付けています。

支部長経由で

表彰の申請には支部長の認証が必要です。次ページ書式もしくはジャグラHPより申請書（Word文書）をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、支部長にご提出ください。

×

●手順

- ①推薦したい従業員がいる場合、所定の申請書にて、支部長（または支部事務所）あて申請してください。
※申請書は支部経由で、本部へ提出してください。
その際、支部長のご印鑑の押印をお願いします。

●表彰基準

- ①その従業員が優秀で、他の従業員の模範になる場合
- ②その従業員が優秀な事績を残した場合
- ③その他、その従業員を表彰するにふさわしい場合
※その従業員が上記のいずれかに当てはまると、代表者が判断した場合に申請できます。
※なお、従業員とは「労働組合法第3条」による労働者（賃金その他これに準ずる収入で生活するもの）であって法人の場合は社員から役員になった者であっても、出資金がその法人の資本総額の十分の一以下であれば、従業員とします。
※当該事業所に従事している事業主の配偶者は除外します。

●経費の負担

- ①優良従業員（被表彰者）に授与する表彰状、記念品はジャグラが用意しますが、経費は申請する会社で負担してください。費用は概ね1万円見当です。後日、請求書を送付しますので、それに従い振り込

てください。

- ②被表彰者が表彰式に出席するための一切の経費は、表彰の趣旨を生かすため、事業主がご負担くださるようお願いいたします。

●支部長の認証および本部への提出

- ①申請書は支部長が受け取り、該当欄に、署名押印し、一括して本部へ提出してください。
- ②本部締切……4月18日必着（19日の理事会に間に合わせるため）

●表彰決定の通知

- ①各支部長より提出のあった申請書は、本部理事会の承認があると、ジャグラより各事業所に書面で通知します。

●表彰式

- ①文化典式典（6月8日、ホテル東日本宇都宮）で被表彰者へ表彰状および記念品を授与します。
- ②被表彰者の式典後の懇親会への招待はありません。
- ③懇親会出席を特に希望される場合は全額事業主負担となります。申し込みは、通常の文化典申し込み用紙で申し込んでください。

●欠席者の取り扱い

- ①表彰式に出席できない被表彰者へは、後日、賞状および記念品を送付いたします。（会社住所宛）

お問い合わせはジャグラ事務局まで
tel.03-3667-2271

優良従業員表彰者申請書

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 御中

下記の通り相違ありませんので、これを承認いたします。

支 部	支部
支部長	印

年 月 日

事業者	社 名	法人	創業	
		個人	年月	
	代表者	印	ジャグラ登録代表者 (注1)	
	〒	所在地	電話	

(注1)「代表者」と「ジャグラ登録代表者」が同一人の場合、「代表者」欄のみご記入下さい。

被表彰者	ふりがな		男・女	明治 大正 昭和	年 月 日生 (満 歳)				
	氏 名								
	本 籍	(都・道・府・県)			代 表 者 との続柄 (注2)				
	現 住 所								
	勤続年数	勤続年数：延べ 年 か月 (入社：昭和 年 月) 内、従業員として 年 か月、役員として 年 か月)							
	職 歴	製版	校正	印刷	営業	事務	その他	管理職	計
	年	年	年	年	年	年	年	年	年
推薦理由 (いずれかの番号を○で囲んでください)		1. 優秀で、他の従業員の模範になる 2. 優秀な事績を残した 3. その他、表彰するにふさわしい (具体的に (ある場合のみで結構です))							

(注2)「代表者との続柄」欄は、親戚・婚姻関係がある場合にだけ甥・姪などと記入し、それ以外は他人と記して下さい。

- ※ この申請書は、1人1枚を使用して下さい。
- ※ この申請書は、記入後、支部長に提出して認証を受けて下さい。

初心者のための ウェブマーケティング入門②

フレームワーク

ジャグラ事務局/Web担当 阿部奈津子



前回、ウェブマーケティングの役割を恋愛に例えてお話していましたが、今回は一歩踏み込んで、マーケティング戦略を立てる上で利用される「フレームワーク」についてお話します。

×

フレームワーク

フレームワークとは、簡単にいうと、マーケティングのスペシャリストがマーケティング戦略を立てるために編み出した分析方法の“テンプレート”のようなもので、「3C分析」「SWOT分析」「4P分析」「STP分析」などのフレームワークが有名です。今回はそのなかで、マーケティング初心者でもイメージしやすい「STP分析」について考えてみたいと思います。

STP分析

STPとは、セグメンテーション（S）、ターゲティング（T）、ポジショニング（P）の頭文字を取った略称です。それぞれの項目について、具体的にみていきましょう。

・ターゲティング

恋愛では、通常ターゲットの人数は1人（2人3人の方もいるかもしれませんが…）ですが、マーケティングではすべての消費者がターゲットとなり得ます。不特定多数を対象としたマーケティングを「マス・マーケティング」

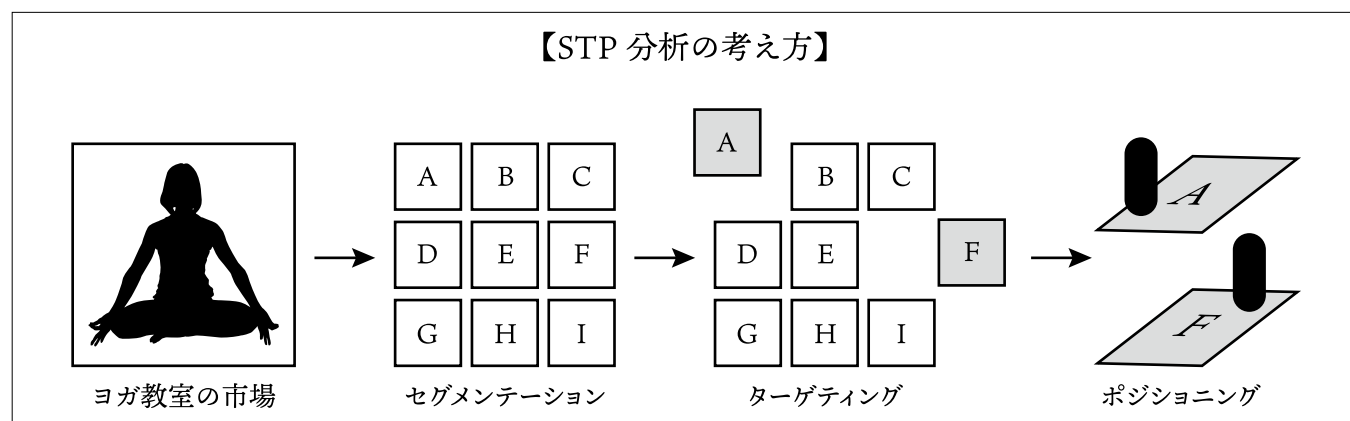
と呼びますが、ユーザーの価値観が多様化した現在では、基本的に「あらゆる顧客を狙った商品は、誰からも必要とされない」というのがマーケティングを考える上での前提となりました。つまり、ユーザーの絞り込み＝ターゲティングが必須となるわけです。

・セグメンテーション

マーケティングには「セグメント」や「セグメンテーション」という言葉がよく出てきます。セグメンテーションとは、居住地・年齢・趣向・行動パターンなど特定の属性に基づいて「市場を分類する方法」のことで、セグメンテーションにより分類された各グループのことを「セグメント」と呼びます。具体的にどのセグメントを狙ってマーケティングを仕掛けるか、的を絞ること＝ターゲティングとなります。

東京都内に新規オープンする女性専用ヨガ教室を例に、簡単なセグメンテーションとターゲティングを行ってみます。まず、「性別」でセグメンテーションを行うと、ターゲットセグメントは「女性」です。生徒は成人女性を想定していることから、「年齢」によるセグメンテーションを行い、ターゲットセグメントは「20代～50代の女性」とします。実店舗が東京にあるため、「地域」でセグメンテーションを行うと、「関東圏に通勤在住している20代～50代の女性」がターゲットセグメント＝標的市場となります。その他の属性に基づき、さらにセグメントを細分化していくことが可能です。

【STP分析の考え方】



・ポジショニング

ポジショニングとは、標的市場においてどんな価値を提供するか決定し、自社の立ち位置を確立することをさします。標的市場のニーズと合致した価値を提供し、それによってポジショニングを築けるかが重要になってきます。

STP分析以外にもマーケティングにはさまざまなフレームワークが存在しますが、それらを実際のビジネスに活用するとすると、何から着手していいかわからないという方も多いかもしれません。そこでおすすめしたいのが、フレームワークを利用したウェブアクセス解析です。ウェブアクセス解析に取り組むことで、まずは自社サイトに訪問したユーザーを分析し、ターゲットセグメントとなりうる属性を特定してみたいかがでしょうか。

レッドオーシャンとブルーオーシャン

どこを標的市場にするか検討する際、その市場での競争がいかに激しいかを見極める必要があります。レッドオーシャンとは、競争がひしめき合う激戦市場をさします。それに対して、ブルーオーシャンというのはライバルがいない不戦市場＝ニッチ市場をさします。レッドオーシャンを避けてブルーオーシャンでビジネスを進めることを「ブルーオーシャン戦略」と呼びます。しかし、ブルーオーシャン市場で一度成功をおさめても、後発隊がそこに集まってくれば、いずれはレッドオーシャン化することでしょう。後発が参入しづらい付加価値で独り勝ち状態を守り続けるか、新たなブルーオーシャンを探すなどの動きが必要になってきます。

Google Analytics

「サーバーのアクセスログは調べているが、分析はしていない」「そもそもアクセス数を調べたことがない」という方におすすめしたいのが、Google社製ウェブアクセス解析ツール「Google Analytics（グーグルアナリティクス）」です。Google Analytics（以下GA）は、無料であるにも拘わらず非常に有益な情報をもたらしてくれます。GAの登場により、企業規模の大小を問わず、誰もが自社サイトのアクセスを解析することが可能になりました。具体的には、自社サイトの訪問者数、自社サイトのページをどのような順番で閲覧し、何ページ目でサイトを離れたか、何分間サイトに滞在したか、販売ページがある場合、何人の訪問者が商品購入に至ったかなどを把握することができます。

自社サイトをデパートの実店舗に置き換えて想像してみ

てください。サイトはデパートのビル、サイトのカテゴリーはデパートの階層、各ページはビルに入っている各店舗、物販ページはデパートのレジです。一日の来店者数、来店者が多かったテナントのランキング、そのうち実際に商品の購入に至った人数、購入者がデパート内で何軒のテナントに、どのような順番で立ち寄ったか、実店舗で調査しようとする莫大な負担がかかることでしょう。これら実店舗ではなし得ない調査を、ウェブアクセス解析ツールは可能にするのです。

Google Analyticsの仕組み

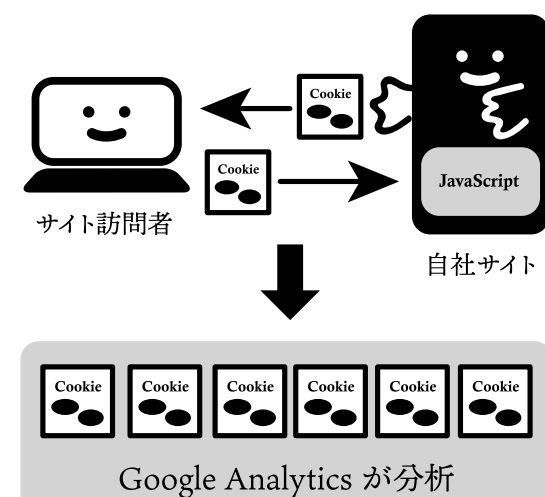
ここまで説明を聞いて、GAは非常に便利で使いそうなツールだが、なぜそのようなアクセス解析ができるのか疑問に思った方もいるかもしれません。そんな方のために、GAの仕組みを簡単に解説します。

・GAの測定方式

GAは、JavaScript（ジャバスクリプト）とCookie（クッキー）の技術を利用した「ウェブビーコン型」という測定方式でアクセスを解析します。

JavaScriptは、サイト訪問者のデバイス上（PC、モバイル、タブレットなど）で動作するプログラムの一種で、Cookieとは、サイトが訪問者の情報を一時的に保存する仕組みのことです。GAは、トラッキングコードと呼ばれるJavaScriptを自社サイト内のページに埋め込むことにより、JavaScriptを利用してサイト訪問者のCookieに保存されたウェブサイトへのアクセス情報を収集・蓄積し、その情報を使ってさまざまな分析をしています。

【図解：Google Analyticsの仕組み】



月刊
グラフィックサービス
No.808
2019
03

月刊
グラフィックサービス
No.808
2019
03

業界展望

シリーズ

山田英司の



4

市場開拓・商品開発・新規事業は、すべて顧客コミュニケーションが元である

～顧客の動きから目を離すと、置いてきぼりを喰ってしまう！～

自分自身が見えなくなってしまう経営者

《自分を客観視する力》

M社長 「先生、次回の商談会には●◆を売ろうと思うんです。昨日仲間と話していて思いつきました。」

山 田 「そう思われた理由は？」

M社長 「実は●◆については、この近くにすごく有名な生産者がいるんです。そこの●◆は美味しくて評判がよく、地元でもとても人気があるんです。ウチも以前は仕入れていました。」

山 田 「そうなんですね。でも前は◇▽を売る方向で進めたいとおっしゃっていたと思いますが……」

M社長 「……。」

山 田 「そのために、◇▽の生産現場にも出向いて勉強され、確認のためのご相談にお越しになり、こうして専用の販促ツールも用意したと思うのです。」

M社長 「もちろん、◇▽も PR します。ただ、●◆も良いかなと思ひまして。」

山 田 「●◆と◇▽ではまるで違った商材になります。それに大した準備も出来ていないわけですし、いくら人気商材だからと言ってもM社長が扱うべき明確な理由というのが私には今ひとつピンと来な

いのです。」

M社長 「……。」

決断という言葉がある。それは意思をはっきりとさせることであり、こうと決めたことをやり抜くことでもあるだろう。しかし迷いや不安があるとなかなか決められない。

営業戦略の“要”

営業戦略では決断力の無さが致命傷になる場合が少なくない。M社長は、被災されたが地元密着で頑張ってきた。もともと請負型の食材加工の仕事がここ数年低迷傾向にあったが、震災復興のご支援に来て頂く方が増えたおかげで数字が上がった。しかし、昨年から急激な売上低下が始まりだした。俗にいう震災特需が無くなりだしたのだ。

被災地ではソフト面はまだまだこれからというところも少なくはないが、ハード面は整い始めている。当然、工事関係者や支援団体などは現地を離れ、次の現場に向かうことになる。

彼らを相手に食材の販売などを行っていたM社長にとっては大打撃だ。かと言って次の商売のネタなんてすぐには見つからない。

焦りもあるのだろう。なかなか腰が定まらないのわからないような気がする。私も同様の経験を昔したことがあるからだ。ジタバタしたってどうにもならない。焦っても答えは見えてこない。出来ることを着実にやるしかないのだが、今までであったもの（売上）が消えていくと、どうしても当たりまえのことが考えられなくなってしまう。私はそうだった。

結果的に十分時間があつたにも拘わらず、ジタバタして無駄に走り回っただけで実になることが何も出来なかったため、事業は廃業へと向かわざるを得なくなった。

「もっと良いモノがあるのではないか」と思ってしまう真意とは？

「自分が決めたことをより確信できるように動く」ことと、「もっと良いことがあるのではないかと動くこと」では動き方が根本的に異なる。前者は良い情報を引き寄せよ

うとする行動になりやすく、後者はネガティブな情報を引き寄せる行動になりやすい。

M社長は後者の選択をし、益々自分が信じられなくなっていた。私はここは原点に立ちかえていただき、当初一緒に決めたこと1本に絞ることを再度おススメした。〃二兎を追うモノは一兎も得ず、という諺があるが、これは言わば人の欲をたしなめることを言っている意味だったように思う。同時に2つを上手くやろうとすると結局両方失敗するということだろう。

ただし、M社長の場合はちょっと意味が異なる。大した実力もないのに大見栄を張って、あれもこれもと出してしまおうと力が及ばず、アブハチ取らずになるとでも言おうか。

相手がどう見ているかまで考える余裕がなくなる

自分が焦ってしまうと心に余裕がなくなるのは誰もがわかることだろう。ただし、余裕がないときはそのことさえ気づけない。結果的に空回りが増え、やがて時間切れとなってしまう。私はM社長に先般の決めた戦略を押し通すこと

Column

すべての立ち仕事の苦痛を解決する「アルケリス」

e-中小企業ネットマガジンVol.864より転載 (http://www.chusho.meti.go.jp/e_chusho/index.html)

工場の組み立てラインや、工事現場などの警備・誘導、スーパー・コンビニのレジ打ち、理容師や美容師など、立ったまま働く職場は多い。ただ8時間、時には12時間という長時間の立ち姿勢を強いられることが珍しくない職場がある。腹腔鏡手術に携わる医師や看護師らが働く医療現場である。

腹腔鏡手術は、ヘソの周囲から直径2～10ミリの内視鏡を腹腔内に挿入し、テレビモニターに映し出された映像を見ながら手術する。一般的な開腹手術は10センチ以上皮膚を切開するが、腹腔鏡手術は1センチ前後の切開が3～4カ所で済む。このため手術後の痛みが少なく回復が早い。ため、早期に退院・社会復帰できる。傷が小さく美容的にも優れるため、実施率は近年急増している。もちろん欠点もある。手術の難易度が高く、一般的に手術時間が長くなる点だ。手術室は立ち姿勢を前提に設計されており、床には医療機器のコードなどが横たわる。医師は立ち位置を変えながら、複数人で連携して手術するため、椅子を置くことができず、長時間の立ち姿勢による腰や足への負担は大きい。一方で、鉗子（かんし）の先端数ミリでの動作が求められ、医師の「体幹の安定」が手術の品質に大きく影響を及ぼすという。

これを解決するのが、ニットー（横浜市金沢区）が千葉大学の川平洋准教授（現自治医科大学教授）、中村亮一准教授らと共同開発した「archelis（アルケリス）」だ。「身に

をおススメした。確かに納得できる作戦だからだ。そしてそのことの確信をより深く自己説得できるように、伝え方にもいろいろ工夫をするようにアドバイスした。

例えば、加工プロセス（一部の内容）をその場で見せたり、試食も素材だけではなく、何かと混ぜて実際の現実的な運用方法がわかるようにするなど、それも一つではなく複数の試食内容を用意する旨アドバイスした。相手に良いか悪いかを判断していただくのではなく、どれが良いのかを判断していただく工夫をしたのだった。

こうしてM社長には、次回の商談会では自分が得た確信を、しっかり確認できるようにする場とすることをアドバイスした。どこに旨い話があるのかを手探りするような作戦は真っ向から否定したのだった。

お陰でM社長は私自身の言葉で自分を冷静に見つめることができたようだった。

「今月のひと言」

多くを求めると己の力が分散する。1点に絞れば中身とは別に意外と強く見えたりする
山田英司

身に着けて歩ける椅子

すべての立ち仕事の苦痛を解決する「アルケリス」

写真：同社 HP より



つけて歩ける椅子」をコンセプトに、中腰姿勢のまま座れ、腰や足への負担を大幅に軽減する。スネとモモの広い範囲で体重を分散して支えるため、体幹が安定し安全で高品質な手術を実現する。装着したまま自由に歩けるため、好きな場所で「歩く」「座る」を繰り返せる。電源を使わないため、他の医療機器への電波干渉や充電の心配もない。

これまで多くの人に試してもらったが、フィット感や好みが違う点に悩まされたと藤澤秀行代表取締役は開発の苦労を振り返る。月額3万～5万円でレンタル販売を始めたのは2018年11月。ただ2015年には試作機が完成、この3年間はテレビ番組や学会、展示会などで披露し、多様な意見を取り入れて製品をブラッシュアップさせた。

ニットーはプレス金型製作や板金・機械加工を手がける町工場だ。創業以来45年間はほぼ100%下請けだったが、自社製品として2012年にヌンチャクのように振り回せるiPhone用ケース「iPhoneトリックカバー」を商品化した。「自分たちが使いたくなるものを開発した」と藤澤さん。同じ自社製品の「アルケリス」は医師からの要請に応えたものだが、今では製造業や小売業など多方面から「熱い視線」を浴びている。

1.8 第5回理事会を開催

用紙値上げ問題の対策を検討

ジャグラは、1月8日、ニッケイビルにて第5回理事会を開催した。今回の理事会では、昨年末より用紙値上げ問題が出ていることから、その対策が検討された。また、理事会の開催に先立ち、今期より開催することになった委員長会議が開催され、次年度の事業予算について検討した。この会議で出た意見は3月に開催される予算理事会に提案される予算案に反映することになっている。

×

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

省略（本誌巻末をご参照ください）

《検討の経緯》

質問・意見を諮ったところ、満場一致で承認した。

第二号議案 事業の推進体制に関する件

平成30～31年度の事業推進体制を、次のとおりとしたい。

- 1) M&A 部会＝東北を削除
- 2) CSR 委員会の活動内容＝CSR 委員会は環境部会、BCP 部会と共同で委員会を開催する。事業内容としては、以下のとおり（環境とBCPに続く）
- 3) 環境部会の活動内容＝①GP 認定取得のPR と取得増加、②環境優良工場表彰のPR と応募増加、③「印刷と私」エッセイ作文コンテストのPR、④環境や省エネ活動の啓蒙
- 4) BCP 部会の活動内容＝①緊急連絡網の作成と普及、②クラウド活用の事例紹介、③BCP の整備と普及

《検討の経緯》

質問・意見を諮ったところ、満場一致で承認した。

第三号議案 印刷用紙値上げ対策に関する件

昨年11月中旬より、印刷用紙値上げの話が聞こえるようになってきた。これを受けて、ジャグラなど印刷関連10団体で構成する（一社）日本印刷産業連合会より製紙業団体に抗議文を送付した。

また、それとあわせて、顧客に値上げ状況をお知らせし、協力を求める文書をジャグラ会員に配布した（FAX。協力を求める文書はウェブよりダウンロードできるようにした）

《主な意見》

◎値上げは、まちまちで1月20日からであれば2月1日から

もある。値上げ率も紙の種類による。

◎紙がなくなるウワサもある。オフ輪用紙がなくなっている。

《検討の経緯》

質問・意見を諮ったところ、満場一致で承認

第四号議案 平成30年度事業報告に関する件

省略（長文にて、次号以降に報告の予定）

《検討の経緯》

質問・意見を諮ったところ、満場一致で承認

第五号議案 その他に関する件

1) ジャグラ文化典栃木大会のPR

宮本理事より、ジャグラ文化典栃木大会のPRがあった、併せて、名刺広告の出稿の要請もあり協力することにした。

2) 名簿の発行

沖専務理事より、名簿の発行について、毎年4月1日に発行していたが、役員改選があった場合は、新役員が反映されていないので、役員改選を反映した直後に発行したいとの提案があり、承認した。

3) 宿泊費の件

山本副会長より、出張（プライバシーマーク現地審査含む）の際の宿泊費について、領収書を添付して精算すべき、対応をしたかどうかとの提案があり、次回までに対応を報告することにした。

以上

◎出席	
会 長	中村 耀
副 会 長	熊谷正司、岡澤誠、菅野 潔、岡本泰、山本耕司、中越忠男
専務理事	沖敬三
常務理事	守田輝夫
理 事	渡辺辰美、向井一澄、宮本誠、尾形文貴、早坂淳、齋藤秀勝、中村盟、吉岡新、笹岡誠、原田大輔、高橋広好、谷川聡、岩下登、宮崎真、本村豪経、松本徹、斎藤隆正
監 事	佐藤順、松永英明
◎欠席	
理 事	清水隆司、青木滋、吉澤和江
監 事	前沢寿博
※利害関係案件は0件であり、理事の離席はなかった	



法律相談ネットワーク

ほうしんかい

「グラフィックス法親会」のご案内

皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近は経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスをもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも50万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持とう」というジャグラ会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げる次第です。皆様のご参加をお待ちしております。

法親会・会長 添田隆男（株式会社サンライズ / ジャグラ18代会長）



法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要

- | | | | |
|--------|---|----------------------|--------------------------------------|
| ● 専 任 | 今西一男 弁護士 | ● 事務代行（入会申込先・問い合わせ先） | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・事務局 |
| ● 会 費 | 20,000 円 / 年（税別）
※年度途中入会は月割換算（年度末12/31） | | 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ☎ 103-0001 |
| ● 会員特典 | ① 無料相談（随時）
※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応
② 情報交換会（適時開催） | | 電話 03-3667-2271
ファクス 03-3661-9006 |

入会申込書

申込日 20 年 月 日

fax.03-3661-9006

社名	フリガナ	氏名	フリガナ
			印
住所	〒		
Tel		Fax	
		E-Mail	

特別企画

2.9-10 栃木大会の下見ツアーを開催

関東地協の各支部長総勢15名が第三者的視点でチェック

ジャグラ文化典栃木大会実行委員会は2月9～10日、実行委員メンバーおよび関東地協各支部長の総勢15名による栃木大会の下見ツアーを開催しました。ツアーの目的は栃木大会の第三者チェックで、会場となるホテルの現場確認（動線、受付、会場、レイアウト等）、観光ツアー訪問地の下見などを行いました。

×

● 6.7 オプショナルツアーのチェック

——大谷資料館および大谷寺・大谷観音ほか

2月9日、午前11時、会場となるホテル東日本宇都宮に集合し、宮本実行委員長の挨拶により下見ツアーがスタート。栃木メンバーの車に分乗し、最初に訪れたのは「豆腐と湯波懷石 月山」。こちらでいただいた昼食は「茶壺弁当」——三段重ねで壺の形をしており、豆腐と湯葉をはじめ、多種の地場料理が盛り付けられており、食欲をそります。同店名物・ほんのり塩味の豆ごはんは、お代わり自由で大変満足度の高い昼食でした。

13時30分、「大谷資料館」に到着。こちらは昔、大谷石の採掘場だった場所をミュージアムとして公開しており、コンサート、映画やドラマ、有名アーティストのミュージックビデオの舞台として活用されています。広大な地下空間を館長による解説付きで散策しました。非日常的な異空間を堪能していただけますのでオススメです。

15時、続いて訪問したのは「大谷寺・大谷観音」。こ



大谷観音のまゝで記念写真

ちらには、日本最古の石仏「大谷観音」があります。正式名は大谷寺本尊千手観音で、平安時代（810年）弘法大師の作と伝えられています。

以上、大谷資料館および大谷寺・大谷観音は6月7日のオプショナルツアーで訪問いたします。



挨拶する宮本栃木県支部長（左）



豆腐と湯波懷石 月山でまず昼食



茶壺弁当



多種の地場料理に大満足



豆ご飯はお代わり自由



大谷資料館外観



岩山の壮大な風景に圧倒されます



館長自らご説明いただきました



資料館の展示



大谷石切り出し模様の展示



大空間に感動することを保証します



大空間に感動する皆さん



異次元・非日常の内部



大谷寺



会場となるホテル東日本宇都宮



印刷オリンピックの予行演習



ホテル内の予定会場を視察



熾烈な争い
紙のサイズ当て競争



吹き抜けが印象的な館内



日光に到着



大会当日も伝統工芸士の伊原さんに
ガイドをしていただきます



二天門にて



熱心に説明を聞く皆さん



二荒山神社



霊泉の水
若返りのお水です



明治の館



ツアーで提供予定の
ハンバーグステーキ



東照宮へ向かいます



陽明門



祈祷殿と神楽殿



駐車場にて解散
充実した下見ツアーでした



五重塔



唐門

● 6.7 ウェルカムパーティのチェック

——印刷オリンピックで盛り上がる

17 時、ホテル東日本宇都宮に到着。ホテル担当者の案内で、入口・動線・受付・ホールなどを視察。18 時より夕食。6 月 7 日ウェルカムパーティーで行う予定の「印刷オリンピック」のデモンストレーションを行い、ツアー参加者が実際に競技を体験しました。紙数え競争やサイズ当てクイズは非常に盛り上がりました。大会当日は、日光天然かき氷早食いバトル！も開催されますので、皆さん楽しみにしてください。

● 6.9 日光観光ツアーのチェック

——大猷院、二荒山神社、明治の館、東照宮など

翌 2 月 10 日、日光を観光。6 月 9 日の観光ツアーのシミュレーションで、「大猷院」「二荒山神社」「明治の館」「東照宮」「神橋」を周る予定でしたが、前日から降っていた雪のため「神橋」は断念。9 時にホテルを出発し、10

時頃、日光に到着。ここから、伝統工芸士である伊原実穂さんがガイドとして合流し、各所を案内していただきました。（伊原さんは大会でもツアーガイドとしてご案内いただく予定です）

最初に訪れたのは日光山輪王寺「大猷院」。徳川三代將軍家光公の廟所で、境内には世界遺産に登録された 22 件の国宝・重要文化財が建っています。続いて「二荒山神社」に徒歩で移動し参拝。こちらも世界遺産として登録されている「日光の社寺」の構成資産の一つとして登録されています。二荒山神社には若返りの効果があるという「二荒霊泉」があり、飲むことが出来ますし、ボトル等に入れて持ち帰ることも出来ます。

12 時、「西洋料理・明治の館」へ移動し昼食。現在レストランとして使われているこの建物は、蓄音機を日本に初めて紹介したアメリカの貿易商 F.W. ホーン（日本コロムビアの前身である日本蓄音器商會を設立）の別荘として

建築された明治時代の洋館で、2006 年に有形文化財に登録されています。こちらでは観光ツアーで出される予定の柔らかくて大きなハンバーグステーキを頂きました。おいしいワインも用意されていますが、お酒がダメな方にオススメするのは「明治の館の葡萄果汁」。濃厚な味わいでとても美味！ テイクアウトショップで購入することも出来ます。

13 時、「東照宮」に移動。元和 3 年（1617）徳川初代將軍徳川家康公を御祭神にお祀りした神社で、一般的には日光東照宮と呼ばれており、日本全国の東照宮の総本社の存在です。「眠り猫」や「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿の彫刻が有名ですが、その他にも多くの国宝・重要文化財があり、全てが見どころとなります。東照宮のハイライトは「陽明門」。パワースポットとしても有名なため立ち止まって写真を撮る人でにぎわっていました。時間の都合で「眠り猫」「奥宮」は断念し、駐車場にて解散式を

行い、それぞれ帰路につきました。

×

実行委員会の皆さんも、地元でよく知っているにもかかわらず意外な気づきが多くあったとのこと。第三者の目でチェックした関東地協の各支部長さんからは、「日光は全国からいらっしゃるジャグリストの皆さんに自信をもって紹介できる！」と太鼓判。実行委員会では後日、アンケートを取り、より一層の改善を行っていくとのこと。3 月を迎えてジャグラ文化典栃木大会まで 100 日を切りました。皆様からのお申込みをお待ちしております。

（文：ジャグラ事務局・今田豪）

【期間限定】ツアーの動画を限定配信中！

本下見ツアーの模様を、ジャグラ BB にて期間限定で配信中です。下記 URL をご参照ください。

<https://www.jagrabb.net/0005/0002/C0000192>

ジャグラ

1.19 一泊旅行で理事会を開催

中国地協

中国地方協議会は、毎年恒例になりつつある、一泊旅行で1月の理事会を開催しました。

×

2017年は鳥取県羽合温泉で、2018年は山口県湯野温泉で開催し、今回も田中山口県支部長のはからいで笠戸島での開催となりました。

1月19日、山口県下松市笠戸島の国民宿舎「大城」に皆さん無事に集合し、予定通り開催。理事会では本部からの依頼事項やSPACE21の行事、また中国地協としてのセミナー開催など中身の濃い内容を協議しました。中国地協主催セミナーは、昨年「ドローン」をテーマに開催しましたが、今年度は「DTPマイスター」をテーマに開催を検討することになりました。

理事会終了後は、お楽しみのひとつである温泉にゆっくりとつかり、また、もうひとつのお楽しみ「ひらめ」づくりの料理で舌鼓をうちました。食後はこちらも恒例となっている部屋飲みで、深夜まで自社や業界のことなど話合いましたが、「これぞジャグラ！」と勝手に思っています。

(文：中国地協会長 宮崎真)

ジャグラ

2.8 幹事会&新年懇親会を開催

近畿地協

岸徹近畿地方協議会会長（兵庫県支部）のもと新しくスタートした近畿地協の第1回幹事会と新年懇親会を、2月8日、J R神戸駅前の中国料理「天安閣」で開催しました。

×

はじめに年間の行事計画や日程について検討し、第2回を4月、第3回を7月、第4回を9月、第5回を10月、地協総会を11月22日に神戸にて開催することを決定したほか、今年度も引き続き先進企業の見学などを盛り込み充実した地区幹事会を開催することを決定しました。

本部および各委員会の関連報告や各支部活動報告等の



お酒のラベルにご注目
幹事さんのお力です

後、出席していただいた平成会の竹田恒太郎会長、石角彰副会長のご挨拶と思いをうかがい、今後の地協と平成会の繋がりを再確認することができました。

幹事会終了後の懇親会からは、各支部賛助会員の皆さんにもご参加いただき、岩根順子副会長（滋賀県支部）の乾杯のご発声を合図に、おいしい料理と紹興酒を堪能し、賑やかに楽しく交流を深め、賛助会員の皆さんから、各社の取り組みや思いをPRしていただきました。中締めとして安達研 副会長（奈良県支部）の挨拶で閉会しました。

(文：OGS事務局・安田氏)

ジャグラ

2.16 福岡で幹事会を開催

SPACE-21

ジャグラ青年部SPACE-21は、2月16日、福岡県福岡市にて幹事会および交流会を開催しました。

×

当日午前中には玄青会の企画により、博多文化見学会を開催しました。参加者は11名。9時20分に博多駅に集合してジャンボタクシーで移動。「櫛田神社」にお参り・見学した後、「博多町家ふるさと館」に移動して博多の歴史と文化を学びました。続いて明太子のふくやが運営する「博



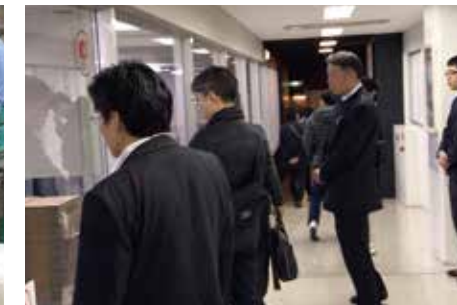
櫛田神社で記念撮影



博多の食と文化の博物館で味覚チャレンジ



明太子のふくやの工場を見学



栃木大会宮本実行委員長からのお手紙



幹事会の模様



PrintNext2020 東海林実行委員長の挨拶



玄青会・大里会長の挨拶

多の食と文化の博物館」〈ハクハク〉に移動。こちらでは、明太子の工場見学と「味覚チャレンジ」を行いました。

同会場で昼食後、「リファレンス駅東ビル貸会議室」にて14～17時まで幹事会を開催（参加18名）しました。ゲストとしてPrintNext2020実行委員長を務める東海林正豊氏にお越しいただきました。また、ジャグラ文化典栃木大会の宮本実行委員長より、お手紙とお菓子を送っていただきました。

幹事会では、東京で開催する総会・セミナーの件、全国協議会宮城大会の進捗、昨年のコンテストで決まったロゴ活用の件、各地活性化事業報告、全国協議会山梨大会の決算などについて報告・協議されました。SPACE-21が推進するプロジェクトについて、全国協議会、全国キャラバン、30周年記念事業、規約改定などのメンバー発表があり、今後、各事業が推進されます。全国キャラバンについては、稲満副代表幹事より提案があり、「我々ユーザー側のニーズとメーカー、ベンダー側の価値提供の認識のズレをディスカッションすることで目線を揃え、更なる相互発展につなげる取組み」について企画概要の説明があり、まずは夏頃に東京で企画第1弾を開催することとなりました。



懇親会の模様

た。PrintNext2020については、東海林実行委員長より企画説明があり、SPACE-21にはぜひ広報部会をやってほしいとのことで、協議の結果、引き受けることとなりました。その他の議題では、鈴木幹事（愛知・愛青会）が今期をもって退任することになり、後任は梅本氏となることが併せて報告されました。

その後、18時30分から「雑魚屋天神店」にて懇親会が行われました（参加21名）。2次会のみならず、3次会まで夜遅くまで深～い交流があったとのこと。玄青会の皆様のおもてなしに感謝いたします。

(文：ジャグラ事務局・今田豪)

月刊『グラフィックサービス』808号

■発行日 平成31年3月10日(毎月1回)
■発行人 中村 耀
■編集人 早坂 淳
■発行所 一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
TEL 03-3667-2271
FAX 03-3661-9006
WEB <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経
済社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
藤尾 泰一 (㈱インフォ・ディー/広報委員)
日経印刷㈱ (校正のみ)

◎組版/デザイン (㈱インフォ・ディー)

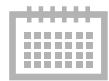
組 版 = Adobe CS6/CC
フォント = モリサワ OTF (ほか)

◎印刷 日経印刷㈱(東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
CTP = 富士フイルム XP-1310R
刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
インキ = DIC
用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作
られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用
い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2019 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。
また、原則 TM・®マークは省略しています。
※乱丁/落丁本はお取り替えいたします。



事務局日誌と今後のスケジュール

2019年2月 事務局日誌

- 5日 Pマーク審査会
- 6日 PAGE2019 開会式(池袋サンシャインシティ) →中村会長・沖専務、M&A
部会
- 7日 プライバシーマーク現地審査(埼玉)、ビジネス推進委員会・生産性向上部会・
マーケティング部会
- 12日 ジャグラコンテスト専門委員会議、経営基盤強化委員会
- 14日 プライバシーマーク現地審査(福島)
- 15日 プライバシーマーク現地審査(宮城)、東北地協幹事会(宮城) →守田常務・
事務局、CSR 委員会
- 16日 SPACE-21 幹事会(リファレンス駅東ビル貸会議室(福岡))
- 19日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 20日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 21日 広報部会
- 26日 プライバシーマーク現地審査(福岡)

2019年3月の予定(2.28時点)

- 5日 プライバシーマーク現地審査(熊本)、日本プリンティングアカデミー評議員会
(JPA) →欠席
- 8日 JIPDEC 審査機関会議(熊本) →斎藤成 P マーク審査センター長・事務局
- 12日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 13日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 14日 JAGAT 理事会(JAGAT) →吉岡理事
- 18日 日印産連・地方創生事業発表会(大日本印刷五反田ビル)
- 20日 Pマーク審査会、日印産連理事会(日本印刷会館) →中村会長・菅野副会長
- 22日 拡大理事会

2019年4月の予定(2.28時点)

- 13日 SPACE-21 セミナー・総会・懇親会(富士ゼロックス グラフィックコミュニケー
ションサービス東京)
- 17日 小森会世話人会総会事業(東京ドームホテル) →中村会長・沖専務
- 18日 教育・技術委員会、POD 部会、定期監査
- 19日 ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会、拡大理事会+
懇親会

■最新スケジュールは公式 HP で!

ジャグラ関係の会議などのイベント日程の最新情報は、公式ホームページにてご案内していま
す(<https://www.jagra.or.jp/events/>)。Google カレンダーと連動していますので、ご自身の
スマホに日程を取り込むことができて大変便利です。ぜひご利用ください。

| 編 | 集 | 後 | 記 |

年が明けたと思っていたら既に3月の声を聞き、会員の皆さまは年度末を迎え、ご
多忙のことと思います。今年は4月1日に新元号の公表、4月30日天皇陛下のご退位、
翌5月1日には新天皇陛下のご即位があり、新元号元年となります。またこの間をは
さみ10連休になることも発表されています。初めてのことが多く、皆さまも戸惑うこ
ともあるでしょうが、ともに祝意をもって過ごしたいと思います。テレビ番組ではこれ
まで元号に使われた漢字の頻度等を調べたり、新元号の予想をしたりで元号への関
心がにわかに高まった感があります。古典からの選出であれば数が多いとは言え限ら
れている訳ですから、「誰かの予想は当たるのでは?」と門外漢は思うのです。(T.M)

2019年3月号
ジャグラBB HOT NEWS

今月のおすすめ番組

最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



JISQ15001:2017版
改正内容とその対応について

日本印刷会館にて開催した東京グラフィックス
主催、認定個人情報保護団体セミナーです。
JISQ15001:2017年版の概要と対応について
解説します。

時間:2時間7分29秒 無料番組



「ビジコン! 2018」
入賞作品プレゼンテーション

東京グラフィックス主催「ビジコン! 2018(ビジネ
スアイデア・コンテスト)」入選者による「ファイナ
ル・プレゼン大会」の模様をお届けします。各社
の創意あふれるアイデアをご覧ください。

時間:1時間15分17秒 無料番組



マイスターが伝授するDTPオペレーター
のための「InDesign時短テクニック」

ジャグラコンテスト第2回InDesign優勝者で、
“InDesignマイスター”の称号を持つ戸田大作
氏が、現場で実践しているテクニックを隠すこと
なく伝授します。

時間:1時間8分 会員限定番組



ビジネスマッチングサロン2018
(第4回)

東京グラフィックスで開催しているビジネス交
流会での各社プレゼンテーションの模様を皆様
にお届けします。各社の強みを活用し合うことで、
大きなビジネスにつなげていきましょう!

時間:46分17秒 無料番組



シリーズ経営と環境 日印産連 GPマーク
普及準大賞受賞 株式会社文伸 訪問記

2017年・2018年に日印産連GPマーク普及
準大賞を受賞した(株)文伸(東京・三多摩)を
訪問し、同社川井社長、有馬工場長より環境
への取り組みについてお話を伺いました。

時間:24分59秒 無料番組



仕事に役立つAdobe CCシリーズ
知らない損をするDTPの仕事術

仕事に役立つAdobe CCシリーズでは、印刷
業界で使われているPhotoshop、Illustrator、
InDesignを中心に現場で役立つテクニックを
伝授します。現在11番組を配信中です。

時間:7分~12分 会員限定番組

動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」「インサツノオト。」で配信する投稿映像を募集しています。自社で編み出した仕事の
裏ワザ、自慢の印刷機を動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。

ワザコレ!動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB
企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
応募先メールアドレス:jagrabb@jagra.or.jp

スマホで
撮影した動画も
受け付けます!



スマホで簡単登録&視聴! ジャグラBB 新規ID登録はこちらから
https://www.jagrabb.net/app_mail.php



月刊
グラフィックサービス
No.808
2019
03